



大田区地域課題 × デザイン学部学生『プロジェクト実習』

大田区公民連携事業+東京工科大学 実学基礎科目「社会連携実習」

学生のアイデアを地域課題に活かす地域貢献を「授業」として実装

2025年度から実学基礎科目「社会連携実習」という科目が開講されます。この授業は、学外の地域公共団体や企業等と連携する実習を通して、社会とのつながりや現場の当事者との協働・共創により、社会課題に取り組む姿勢と社会性を育み、デザインに対する視野を広げることを目的としています。その開講準備にあたり、大田区との連携によるデザインワークショップを実践し検証を行いました。

ワークショップでは「地域に愛される橋づくり」、「男女共同参画の促進」、「美しいゴミ集積所」をテーマに、大田区の担当部署の職員らとの意見交換を基本に、さまざまな調査やディスカッションを重ね、デザイン提案を行いました。成果発表となるプレゼンテーションでは、学生ならではのユニークな視点とデザインスキルを活かし、アイデアを視覚的に表現。図やイメージ画などを用いることで、魅力的かつ分かりやすく伝える工夫がなされました。

毎年授業での連携先は、年ごとに受け入れを行い、まさに社会と連携した授業が実施されます。

事業名：大田区連携デザインプロジェクト（2024 年）

実施日：第 1～3 回（8/28），第 4 回～第 6 回（8/29），第 7 回（10/2），第 8 回（11/13）
第 9 回（12/11），第 10 回（12/25），第 11～13 回（2/12），第 14～16 回（3/10）

参加学生：デザイン学部 2 年生、3 年生（12 名）

課題テーマ：地域に愛される橋づくり、男女共同参画を知ってもらおう、美しい集積所を目指して

連携先：大田区 建設工事課、人権・男女平等推進課、清掃事業課

担当教員：中島敏博（教養学環）、酒百宏一（デザイン学部）

